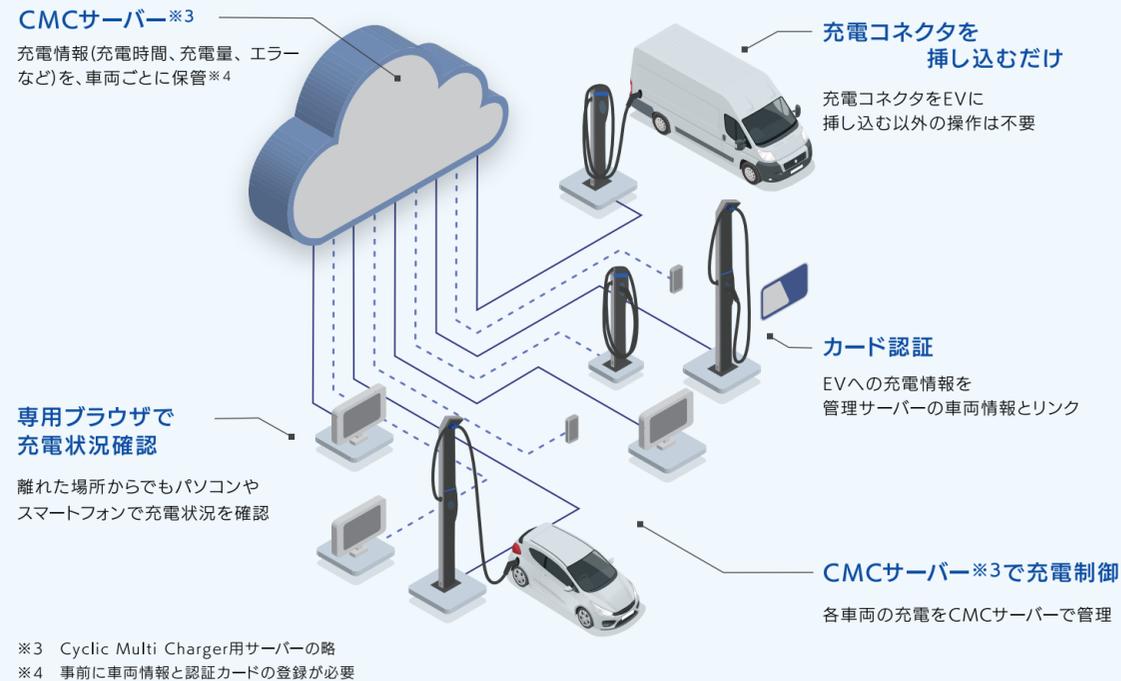


クラウドとの連携によるスマートなユーザビリティ

Smart Usability Through Cloud Integration



車両への充電状態を直感的に把握

Intuitive Understanding Of Charger Status

離れた場所からでもパソコンやスマートフォンで充電状態を確認



くらしに、エネパ!

nichicon
エネルギーパフォーマンスを高める会社。

製品構成

(外形寸法：単位 mm)
Product Composition



製品仕様

Product Specification

型番	NQR-UC904シリーズ	
製品形態	セパレート型	
製品構成	電源盤、スイッチャーボックス、ディスペンサ(6台)	
充電口数	6口(ディスペンサ6台)	
ケーブル長※5	5.0m/8.5m(オプション)	
充電規格	CHAdeMO Ver.2.0.2(認証取得済)	
通信プロトコル	OCPP 2.0.1(応相談)	
充電形態	サイクリック(輪番)充電	
入力	入力電圧	三相3線式 AC400V
	入力容量	96kVA
	定格出力	90kW (1口最大90kW)
出力	出力電圧	DC150 ~ 450V
	出力電流	DC0 ~ 200A
環境	IP等級	IP55
	使用温度範囲	-20 ~ +40℃
	電源盤	300kg
質量	スイッチャーボックス	41kg
	ディスペンサ ※6 (1台当たり)	38kg



※5.トールスタンドは5.0mのみ ※6.ロースタンドの仕様

安全に関するご注意 平成25年3月19日、厚生労働省から「電気自動車の充電器の電磁波による植込み型心臓ペースメーカー等への影響に係る使用上の注意の改定」が示されました。植込み型心臓ペースメーカー等をご利用のみさまに対し、次のような注意喚起がなされています。(1)電気自動車の急速充電器は使用しないこと。(2)急速充電器を設置している場所には、可能な限り近づかないこと。なお、不用意に近づいた場合には、立ち止まらずに速やかに離れること。(3)電気自動車の普通充電器を使用する場合、充電中は充電ケーブルに密着するような姿勢は取らないこと。詳細は一般社団法人 日本不整脈デバイス工業会のホームページをご確認ください。・記載内容は変更する場合がありますので留意ください。

製造元
ニチコン株式会社
京都市中京区烏丸通御池上る 〒604-0845
<https://www.nichicon.co.jp/>



製品に関するお問い合わせ
ニチコン株式会社
関東・甲信越・東北・北海道 — 東京支店 TEL.03-3666-7811
中部・北陸 — 名古屋支店 TEL.052-223-5581
近畿・中国・四国・九州・沖縄 — 西日本支店 TEL.075-241-5370

販売店

nichicon



GOOD
DESIGN

商用EVをスマートに充電

サイクリックマルチ充電器

Cyclic Multi Charger



CAT3321-M5-C T.2026B.10C

複数台のEVを充電、スマートかつスリムな急速充電器

最大6台のEVの充電をクラウド側で制御して、サイクリック充電*1を行う急速充電器。電源盤、スイッチャーボックスとディスペンサは独立しており、設置場所に応じて最適な配置が可能。ディスペンサは設置後に増設も可能であり、設置スペース、利用者、導入車両に応じて3タイプから選択が可能で、利用シーンに応じた効率の良い急速充電を実現します。

1台の急速充電器で最大6台のEVを充電可能

A Single Quick Charger Can Charge Up To 6 EVs

一般的な急速充電器は充電車両1台につき1台が必要でしたが、サイクリック充電*1システムなら、1台の急速充電器で最大6台のEVをクラウド側で制御し、最適な順番によるサイクリック充電が実現します。

ディスペンサの増設が可能*2

Dispensers Can Be Expanded

EVの導入に合わせて、ディスペンサを追加設置可能。

サイクリック充電*1による充電電力ピークの抑制

Suppression Of Charging Power Peaks By Cyclic Charging

サイクリック充電なら、何台接続しても最大電力量は一定。電源盤の定格電力90kW以上にならず、複数台を順番に充電することから、充電器の稼働率が高く、効率の高い充電が可能です。

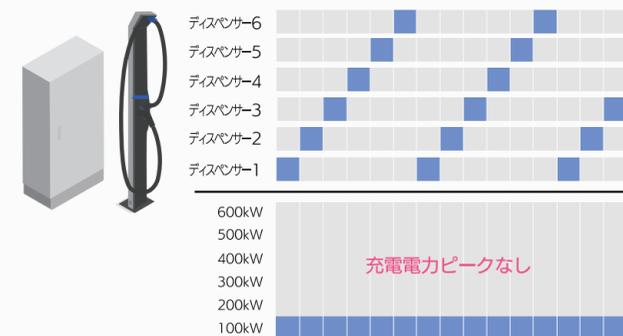
一般的な急速充電器の課題

充電電力ピークの発生による年間電力契約への影響



サイクリック充電システム

最大6台のEVに1台15～30分ごとに充電を切り替えることで、充電器の高い稼働率を常に維持できるシステム。従来の急速充電器を複数台設置するのは異なり、充電電力ピークが一定となることから、電気基本料金やキュービクル等の設備投資の負担を抑えます。



- 充電タイミングにより、充電電力のピークがランダムに発生。
- 充電開始前、充電終了後の充電器は待機中となり、稼働率が低い。
- 充電車両数分の急速充電器が必要

省スペースとシステム設置の自由度の高さ

Space Saving And Flexibility In System Installation

電源盤からスイッチャーボックス間は最大300m、スイッチャーボックスからディスペンサ間は最大100mの設置距離がとれます。また、スリムなディスペンサと組み合わせることで、周辺環境、敷地形状や既設の駐車マスに合わせた最適な設置を実現します。

*1.最大6台のEV車両に1台15～30分ごとの輪番充電 *2.1充電器につき最大6口

3タイプのディスペンサ

3 Types Of Dispensers

壁掛け、ロースタンド、トールスタンドの3タイプから設置場所に合わせたディスペンサが選択可能。

Slim Smart Sophisticated



壁掛け

ロースタンド

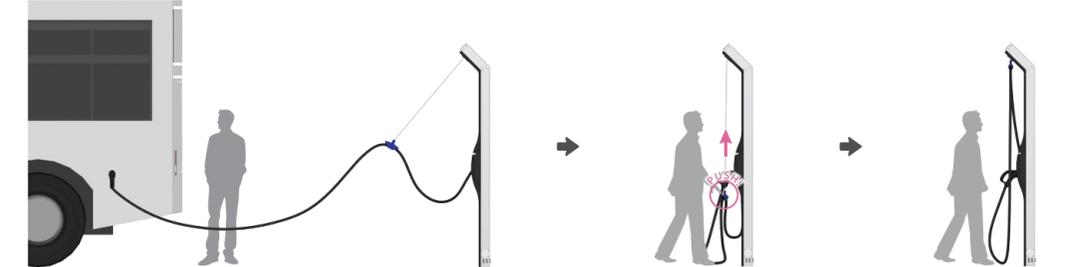
トールスタンド

ユーザビリティの高いケーブルマネジメント

Highly Usable Cable Management

トールスタンド

ケーブルを吊るすことで、持ち上げる力をアシストし、容易にケーブルの取り回しが可能。充電後、ワイヤーアシストによりケーブルをまとめる手間がなくなります。



ケーブルを浮かしたままEVの充電口にコネクタをセット。

充電後、ハンドル部分を下方におすと、ワイヤーアシストにより収納。

ロースタンド

太い急速充電用ケーブルを収納しやすいケーブルフック。

壁掛け

全タイプ

収納しやすいコネクタホルダ。

